

四国健康支援食品普及促進協議会 令和6(2024)年度事業実施報告(案)

1. 制度運用・協議会運営
2. 情報収集・普及広報、販路開拓支援
3. 会員に対する情報提供
4. 分科会活動
5. 決算報告

1

1. 制度運用・協議会運営

時 期		内 容
2024年	5月1日～31日	第14回四国健康支援食品制度 申請受付（申請なし）
	7月26日	四国健康支援食品普及促進協議会 会長・副会長会議（第11回）
	10月1日～31日	第15回四国健康支援食品制度 申請受付（申請なし）
	4月18日他	女性の参画のための分科会 5回開催（4/18, 5/22, 6/24, 8/26, 11/22）
2025年	2月6日	四国健康支援食品制度運営委員会開催
	2月7日	良好事例調査分科会「視察研修」（池田薬草様）（荒天中止）
	2月17日	四国健康支援食品普及促進協議会 会長・副会長会議（第12回）
	3月21日	四国健康支援食品普及促進協議会 総会

2

四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）認証食品実績一覧

(注) この一覧表には、機能性表示食品への移行、終売等によって認証失効したものも含まれております。

	認証番号	認証事業者	所在地	商品の名称（形態）	対象素材（※）
2017 年度	第01 -0001号	(株)レアスウィート	香川県	レアシュガースウィート（甘味料）	希少糖 (ブショウ、リンドール、スクロース、アロース)
	第01 -0002号	自然免疫応用技研(株)	香川県	健康茶さらそま（お茶）	パントエー・アゲロメクス由来LPS
	第01 -0003号	酔鯨酒造(株)	高知県	K E N N O U けんのう（清涼飲料水）	葉酸、ビタミンB6、ビタミンB12
	第01 -0004号	バイオアイ(株)	大阪府	美ッ栗ポリフェノール（サプリメント）	栗渋皮抽出物 (愛媛県の企業が製造)
2019 年度	第05 -0005号	メディカルネットサーバー(株)	東京都	サンケイパワー（サプリメント）	パントエー・アゲロメクス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第05 -0006号	メディカルネットサーバー(株)	東京都	スーパーサンケイエース（サプリメント）	パントエー・アゲロメクス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第05 -0007号	(株)ベストフード	愛媛県	血圧ゼリー（サプリメント）	バリンチロシン (イワン由来)
2020 年度	第06 -0008号	(株)アデランス	東京都	L P S 免気エスコート（サプリメント）	パントエー・アゲロメクス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第07 -0009号	赤穂化成(株)	兵庫県	志國の水、室戸の水（いずれも清涼飲料水）	海洋深層水ミネラル (高知県の事業所で製造)
	第07 -0010号	(株)あさの	高知県	高知・生姜 あさの家 しょうが湯（粉末清涼飲料）	生姜加工物 (6-ジンゲロンと6-ショガオールを含む)
2021 年度	第08 -0011号	(株)ル・シェール	東京都	ル・シェールプレミアムドリンクM&M（清涼飲料水）	パントエー・アゲロメクス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第08 -0012号	池田薬草(株)	徳島県	スダチン錠／Sudachin®（スダチン）（サプリメント）	スダチ果皮エキス末
2022 年度	第10 -0013号	(株)ふじや	徳島県	大豆ミートとすだちの餃子（一般加工食品）	スダチ果皮エキス末
2024 年度	第12 -0014号	健康屋本店(有)	愛媛県	アクトファージ（サプリメント）	パントエー・アゲロメクス由来LPS

(※) 食品あるいは食品の原材料となる素材のうち、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われたものをいいます。

(2024年5月31日現在)

3

2. 情報収集・普及広報・販路開拓支援

区 分	名 称		形態	期 間	場 所
情報収集 普及広報	i f i a J A P A N 2024		情報収集	5/22～24	東京都
	食品機能性地方連絡会		情報交換	5/23、9/26、 2/21	東京都
	ウェルネスフードジャパン2024		出展・プレゼン	7/16～18	東京都
	Well-beauty Style 2024		出展・プレゼン	9/30～10/2	東京都
	行政機関・ 公的組織が 主催する行事 を活用した ヘルシー・フォー の P R 等 〔スライド 5～7参照〕	四国工業研究会セミナー オーラルフレイル in 高知	配布	6/7	高知市
		香川県産業技術センター 研究成果報告会	配布	6/18	高松市
		香川県産業技術センター 第1回食品イノベーションセミナー	配布	9/20	高松市
		かがわ機能性食品等開発研究会 第12回シンポジウム	展示	9/25	高松市
		高知県工業技術センター 研究開発 & 企業支援成果報告会	展示	10/16	高知市
		かがわ糖質バイオフォーラム第16回シンポジウム	展示	10/30	高松市
		希少糖食品製造技術普及講習会	配布	11/15	高松市
		かがわ冷凍食品研究フォーラム第12回シンポジウム	配布	11/22	高松市
		四国フードテック展示会	展示	1/15	高松市
		第13回自然免疫シンポジウム	展示・配布	3/7	東京都
		愛媛大学食品健康機能研究センター産学交流会	情報収集	3/11	愛媛県
販路開拓 支援	食品開発展2024 (スライド8参照)		出展・PR	10/4～6	東京都
	沖縄大交易会2024 (スライド9参照)		出展・PR	10/16～17	沖縄県
	アルフレッサヘルスケア 2025ライフサポートフェア (スライド10参照)		出展・PR	2/20	東京都
	健康博覧会2025 (スライド11参照)		出展・PR	2/26～28	東京都

4

行政機関・公的組織が主催する行事を活用した「ヘルシー・フォー」のP R（1／3）

	2024年6月7日	6月18日	9月20日	9月25日
行事名	四国工業研究会セミナー オーラルフレイル in 高知	香川県産業技術センター 研究成果報告会	第1回食品イノベーション セミナー	かがわ機能性食品等 開発研究会 第12回シンポジウム
主催者	四国工業研究会（※1）	香川県産業技術センター	かがわ食品イノベーション 研究会（※2）	かがわ機能性食品等 開発研究会（※3）
場所	高知県 高知会館 飛鳥	香川県産業技術センター 3階研修室	香川県産業技術センター 3階研修室	ネクスト香川 3階大会議室
P R 内容	・ヘルシー・フォーのリーフレット 類の配布	・ヘルシー・フォーのリーフレット 類の配布	・ヘルシー・フォーのパネル、 リーフレット類の展示	・ヘルシー・フォーのパネル、 リーフレット類の展示
会場の 様子	 	 	 	 

5

行政機関・公的組織が主催する行事を活用した「ヘルシー・フォー」のP R（2／3）

	2024年10月16日	10月30日	11月15日	11月22日
行事名	高知県工業技術センター 研究開発&企業支援 成果報告会	かがわ糖質 バイオフィォラム 第16回シンポジウム	希少糖食品製造 技術普及講習会	かがわ冷凍食品 研究フォーラム 第11回シンポジウム
主催者	高知県工業技術センター	かがわ糖質 バイオフィォラム（※4）	香川県産業技術センター 食品研究所	かがわ冷凍食品 研究フォーラム（※5）
場所	高知県工業技術センター	かがわ 国際会議場	香川県産業技術センター 3階研修室	ネクスト香川 3階大会議室
P R 内容	・ヘルシー・フォーのパネル、リー フレット類、認証食品の展示 ・ヘルシー四国のパネル、リーフ レット類、掲載商品の展示	・ヘルシー・フォーのパネル、リーフ レット類、認証食品の展示 ・ヘルシー四国のパネル、リーフ レット類、掲載商品の展示	・ヘルシー・フォーのリーフレット 類の配布	・ヘルシー・フォーのリーフレット 類の配布
会場の 様子	 	 	 	

6

	2025年1月15日	3月8日	3月11日	
行事名	四国フードテック展示会	第13回 自然免疫シンポジウム	愛媛大学 食品健康機能研究センター 第2回産学連携交流会	※1 四国工業研究会 産総研四国センターの研究の充実、研究成果を産業界に広く周知普及し実用化を促進すること等、工業技術の振興と産業の発展に資することを目的として設立。事務局：産総研四国センター
主催者	四国経済産業局	自然免疫制御技術研究組合	愛媛大学 食品健康機能研究センター （※6）	※2 かがわ食品イノベーション研究会 食品製造技術の高度化、人材育成・技術伝承等を支援し、会員企業の新製品開発・新分野進出に寄与することを目的として設立。事務局：香川県産業技術センター
場所	高松サンプール 第2小ホール	グランパークカンファレンス 401ホール	愛媛大学 メディアホール	※3 かがわ機能性食品等開発研究会 産学官が連携して機能性食品等の開発に資する事業を実施することを目的として設立。事務局：かがわ産業支援財団
PR 内容	・ヘルシー・フォーのパネル、リーフレット類、認証食品の展示 ・ヘルシー四国のパネル、リーフレット類、掲載商品の展示	・ヘルシー・フォー、ヘルシー四国のリーフレット類の配布 ・認証食品の展示	・機能性食品の開発に関する 情報収集	※4 かがわ糖質バイオフォーラム 希少糖や糖鎖、複合糖質など糖質バイオ分野における産学官の関係者が連携して、広域的な人的ネットワークを構築することにより、学術面の飛躍発展、新事業・新産業の創出を実現し、香川県地域の活性化を図ることを目的として設立。事務局：かがわ産業支援財団
会場の様子				※5 かがわ冷凍食品研究フォーラム 冷凍食品を製造する食品企業に対し、産学官が連携して総合的に支援することを目的として設立。事務局：かがわ産業支援財団
				※6 食品健康機能研究センター 地域との連携による食品の健康機能解明研究をもとにした食品開発機能をさらに強化・先鋭化させ、その強みを活かして学内外の組織との連携強化を図るために設置。

7

食品開発展

STEPが運用しているマッチングサイト「ヘルシー四国」会員数拡大、同サイト登録企業の販路開拓支援ならびに「ヘルシー・フォー」の普及広報などを目的として、「健康、美味しさ、安全・品質」に関するアジア最大の技術展である「食品開発展」に、同サイト登録企業である仙味エクス、高橋石油、中温、マルハ物産の4社と共に出席した。

	内 容
期 間・場 所	2024年10月23日（水）～25日（金） 東京ビッグサイト
出展企業・団体	仙味エクス、高橋石油、中温、マルハ物産 および STEP
結 果	● STEP ・四国健康支援食品普及促進協議会事務局として、ヘルシー・フォーの普及広報 認証食品の展示やリーフレットなどを活用し、本制度の意義・理念・概要（対象食品、表示文言、評価基準）などを説明し、同制度をPR。 ・ヘルシー四国の運用事務局として、ヘルシー四国のPR マッチングサイトのPR資料や液晶モニターで実際の登録企業や商品の掲載情報を活用して、同サイトをPRし、登録企業や閲覧会員を募った。 ● 出展企業 ・自社の機能性素材・商品のPR（来訪社：約400社、商談実績：13件、引き合い等：約80件）     （ヘルシー四国登録商品展示風景）

8

沖縄大交易会

四国健康支援食品制度の普及広報ならびに本制度認証食品の販路開拓などを目的として、日本最大級の「食」の国際食品商談会である「沖縄大交易会（※1）」に「食品機能性地方連絡会（※2）」の一員として共同出展した。

期間中、本制度を紹介するとともに、ヘルシー・フォー認証食品を中心に商談を行った。（成果は以下のとおり）

- ヘルシー・フォー認証食品のメーカーとの継続商談 8件
- ヘルシー四国掲載食品のメーカーとの継続商談 5件



（※1）沖縄大交易会

沖縄の国際物流拠点化（国際物流ハブ化）を促進することにより、日本全国の特産品等の海外販路拡大に資することを目的に開催される日本最大級の「食」の国際食品商談会。

- ◆ 日程 2024年11月21日（木）～22日（金）
 - ◆ 会場 沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）
 - ◆ 実績
 - ・サプライヤー出展社数 205社（うち沖縄52社）
 - ・バイヤー参加社数 207社（うち海外105社）
 - ・P Rブース出展社数 23社・団体
 - ・商談件数 2,422件
- （出典：沖縄大交易会実行委員会事務局）

（※2）食品機能性地方連絡会

「健康寿命の延伸」、「地方発食品産業の振興」、「食品機能性表示における情報と課題の共有」を目的として2013年11月に設立された組織で、食品の機能性に関して問題意識を持つ地方公共団体ならびに経済団体などが年数回集まり、食品機能性に関する情報共有のほか、政府や関係省庁に対して食品機能性に関する要望の取りまとめなどを行っている。（当センターは発足当初から参画）

9

アルフレッサヘルスケア 2025ライフサポートフェア

四国健康支援食品制度の普及広報ならびに本制度認証食品の販路開拓などを目的として、アルフレッサヘルスケア(株)様が開催する業界最大級となる「2025ライフサポートフェア（※1）」に「食品機能性地方連絡会（※2）」の一員として共同出展した。

期間中、本制度を紹介するとともに、ヘルシー・フォー認証食品（血圧ゼリー、スタチン錠、アクトファージ）を中心にP Rを行った。



（※1）ライフサポートフェア

アルフレッサヘルスケア(株)様が毎年開催している、一般用医薬品卸売業としては最大級となる、近未来を見据えた売場提案にフォーカスした展示会

- ◆ 日程 2025年2月20日（木）～21日（金）
 - ◆ 会場 東京都立産業貿易センター浜松町館
 - ◆ 実績
 - ・出展社数 186社（予定）
 - ・来場者数 1,700名（計画）（2024実績1,711人）
- （出典：アルフレッサヘルスケア）

（※2）食品機能性地方連絡会

「健康寿命の延伸」、「地方発食品産業の振興」、「食品機能性表示における情報と課題の共有」を目的として2013年11月に設立された組織で、食品の機能性に関して問題意識を持つ地方公共団体ならびに経済団体などが年数回集まり、食品機能性に関する情報共有のほか、政府や関係省庁に対して食品機能性に関する要望の取りまとめなどを行っている。（当センターは発足当初から参画）

10

健康博覧会

STEPが運用しているマッチングサイト「ヘルシー四国」会員数拡大、同サイト登録企業の販路開拓支援ならびに「ヘルシー・フォー」の普及広報などを目的として、「健康」に特化した国内最大規模のビジネストレードショー「健康博覧会」に、同サイト登録企業である伊方サービス㈱、池田薬草㈱、大倉工業㈱、健康屋本店㈱の4社と共に出展した。

	内 容
期 間・場 所	2025年2月26日(水)～28日(金) 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール
出展企業・団体	伊方サービス㈱、池田薬草㈱、大倉工業㈱、健康屋本店㈱およびSTEP
結 果	● STEP ・ヘルシー四国の運用事務局として、ヘルシー四国のPR 〔 マッチングサイトのPR資料や液晶モニターでの実際の情報登録状況説明等を行なうとともに、出展企業以外の登録商品も展示して同サイトをPRし、企業や閲覧会員の登録を勧誘。 〕 ・四国健康支援食品普及促進協議会事務局として、ヘルシー・フォーの普及広報 〔 認証食品の展示やリーフレット等を活用し、本制度の意義・理念・概要(対象食品、表示文言、評価基準)などを説明し、同制度をPR。 〕 ● 出展企業 ・自社商品のPR、商談実施 (来訪社:約359社、引き合い:約64件) (出展ブース全景) (伊方サービス) (池田薬草) (大倉工業) (健康屋本店) (STEP展示) (ヘルシー四国登録商品展示コーナー)

11

3. 会員に対する情報提供

健康食品業界の有力新聞社であるインフォーママーケットツジャパン㈱が週2回配信する「健康産業速報」から有益な情報をピックアップした「四国健康支援食品普及促進協議会ニュース」の配信、ならびに関連団体等におけるセミナー開催情報などの情報提供をメールで行った。

1. 目 的	四国健康支援食品普及促進協議会会員に対する迅速かつ適切な情報提供
2. 内 容	・健康産業速報(インフォーママーケットツジャパン発行)から当協議会に有益な内容を数件ピックアップし、編集した「四国健康支援食品普及促進協議会ニュース」 ・国県、関連団体等の補助金やセミナー開催情報 ・機能性表示食品等の情報 ・会員企業のプレスリリースや新商品情報、会員間での情報共有などを、電子メール(BCC)にて本協議会会員へ情報提供
3. 配信時期	・「協議会ニュース」は、健康産業速報の定期配信(週2回、通常、火曜と金曜)から、1回遅れで配信(火曜には先週金曜分を、金曜には火曜分を配信) ・補助金・セミナー開催やプレスリリース情報などは、都度、提供
4. 今後の取り組み	・アンケートを実施し、会員の要望、ニーズを把握することによって協議会ニュースに反映する。 ・分科会活動報告等、協議会の取組をタイムリーに発信する。(女性の参画のための分科会 等)

12

4. 分科会活動

1. 機能性表示多様化 分科会	代 表:仙味エキス(株) 研究開発部係長 二宮様 幹事他:自然免疫応用技研(株) 金倉様 他 事務局:STEP 一色 実 績:申請チェックシートを協議会HPに掲載 申請マニュアル作成に向けた検討 次年度:申請マニュアル作成の継続 W認証に向けた検討
2. 良好事例調査 分科会	代 表:池田薬草(株) 取締役管理部長 高橋様 事務局:STEP 佐藤 実 績:池田薬草(株)様視察および懇親会 (参加者9名) ⇒ 荒天中止 次年度:参加しやすい開催時期の検討 会員企業に拘らない視察先や参加者募集の検討
3. 女性の参画のための 分科会	代 表:(株)中温 企画開発部 工藤様 幹事他:室戸海洋深層水(株) 統括部長 町田様、STEP 平井 他 事務局:STEP 一色 実 績:意見交換会、勉強会を5回開催(WEB開催含む) ヘルシー・フォーおよびヘルシーDoIに関する勉強会 次年度:会員企業の紹介冊子を作成 分科会内のニュースを会員に提供 会員企業を対象としたWEBによる本音ヒアリング

13

5. 決算報告

四国健康支援食品普及促進協議会 令和6年度決算報告(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	90,402	沖縄大交易会 出展負担金	27,500
年会費(正会員21口、準会員25口)	880,000	年会費・年間購読料	116,800
預金利息	56	謝金・旅費	166,970
申請マーク使用料(評価会議の収納代行、5品)	50,000	広告費	110,000
		会場費	34,260
		印刷費	199,100
		評価会議への資金付与、認証マーク使用料	50,000
		制度運営委員会経費負担(前年度分精算)	114,945
		諸手数料(振込手数料 他)	8,250
計	(a)1,020,458	計	(b) 827,825

上表の(a)－(b) = 192,633円が令和6年度末における剰余金となる。

14